

セルフセンター情報



第37号

GiftShow

第86回 東京インターナショナル ギフト・ショーに出展

被災地支援事業(福島県)

第86回東京インターナショナル ギフト・ショーが東京ビッグサイトで開催され、400年の歴史のある伝統的で質の高い会津木綿を使用し、日常的使いを意識したアイテムで作る新しいブランド（NSVD & NZIV 9）会津木綿で作った商品を出展しました。

この商品は、被災支援事業として日本セルフセンターが福島県授産事業振興会と連携し県内5事業所が共同して作成したものです。

開催期間中ブースにはたくさんのバイヤーが訪れるなど注目を集めていました。



キューのハンカチ

厚みがありしっかりした生地ですがさらっとした使い心地です。



キューのパンツ

生地が丈夫なのでほとんど型崩れせず、くりかえし使用する事で生地が柔らかくなり自分らしい着心地になります。

会津木綿は、夏は涼しく冬はあたたかいとても機能性のある生地です。その生地の丈夫さや機能性は農作業をするときに着用する野良着としても古くから会津の人々に愛されてきました。



キューのヘアボタン

会津木綿の生地の素朴さをいかした普段使いのしやすいヘアゴム。

ギフト・ショーに出品した商品は、福島県内の福祉施設で製作しています。

- 杜の花（会津若松市）
- 銀河工房（田村市）
- なのはなの家（福島市）
- 食工房ひもろぎ（白河市）
- コパン・クラージュ（会津若松市）

お問い合わせ：福島県授産事業振興会（福島市御山町 8-30）



キューのトート

会津木綿の生地の“日常使用する丈夫な生地”という特性を生かした使いやすいトートバッグ。

NSVD & NZIV 9

「会津を世に出す」



「あいつをだす」という言葉から



「合図を出す」という意味に由来します

SELP ロゴマーク使用申請事業

SELP ロゴマーク使用申請が2事業所から出され、審査の結果いずれの商品も承認され「使用承認書」が公布されました。使用規定改正前に承認を受け、SELP ロゴマークを使用している商品及び使用承認を受けていない商品を扱っている事業所におかれましては、是非使用申請をお願いいたします。



商品名称「水きり姫」
(社会福祉法人 若竹荘 あけぼの作業所・愛知県)



商品名称「シューズ袋」
(社会福祉法人 若竹荘 あけぼの作業所・愛知県)



商品名称「えぞふじ納豆」
(社会福祉法人 黒松内つくし園 羊蹄セルプ・北海道)

SELP自動販売機都道府県別設置状況

(平成30年8月30日現在)

ブロック	都道府県	設置数	ブロック	都道府県	設置数
北海道 86	北海道	86	近畿 139	滋賀県	19
	東北 76	青森県		9	京都府
岩手県		10		大阪府	43
宮城県		17		兵庫県	37
秋田県		8		奈良県	9
山形県		22		和歌山県	16
福島県		11		鳥取県	9
関東 475	茨城県	67		島根県	5
	栃木県	92		岡山県	20
	群馬県	23		広島県	2
	埼玉県	37	山口県	52	
	千葉県	40	徳島県	34	
	東京都	72	香川県	14	
	神奈川県	57	愛媛県	21	
	新潟県	18	高知県	14	
	山梨県	2	福岡県	174	
	長野県	26	佐賀県	27	
	静岡県	41	長崎県	170	
東北 181	富山県	17	熊本県	65	
	石川県	20	大分県	33	
	福井県	27	宮崎県	36	
	岐阜県	4	鹿児島県	65	
	愛知県	92	沖縄県	18	
	三重県	21	合計	1,716	

都道府県別会員数一覧

(平成30年8月30日現在)

ブロック	都道府県	会員数	ブロック	都道府県	会員数
北海道 28	北海道	28	近畿 71	滋賀県	9
	東北 39	青森県		6	京都府
岩手県		13		大阪府	25
宮城県		4		兵庫県	10
秋田県		5		奈良県	5
山形県		3		和歌山県	10
福島県		8		鳥取県	2
関東 154	茨城県	20		島根県	3
	栃木県	14		岡山県	8
	群馬県	4		広島県	9
	埼玉県	18	山口県	13	
	千葉県	9	徳島県	3	
	東京都	36	香川県	2	
	神奈川県	30	愛媛県	2	
	新潟県	9	高知県	4	
	山梨県	2	福岡県	31	
	長野県	4	佐賀県	2	
	静岡県	8	長崎県	23	
東北 78	富山県	2	熊本県	23	
	石川県	12	大分県	3	
	福井県	3	宮崎県	6	
	岐阜県	3	鹿児島県	7	
	愛知県	53	沖縄県	4	
	三重県	6	合計	515	

編集後記

9月6日(木)3時7分頃に発生した「北海道胆振東部地震」は最大震度7で、北海道では初めて観測された。震源に近い厚真町吉野地区では山林に大規模な崖崩れが発生し、多数の住宅が巻き込まれた。障害者施設や老人施設にも壊滅的な被害が出ているとのことである。震度の大きかった地域の会員施設・事業所は、幸い利用者・職員の怪我や建物被害はほとんどなかった。大規模停電や交通網の麻痺による物資の不足等も心配されたが大きな混乱はなかったようであるが、地震による死者は41名、現在も603人の方が避難をしている。被災されたみなさまに心よりお見舞いを申し上げます。列島のあちこちで頻発する災害、防ぎようもないが、いざという時のための備えの万全には心がけたいものである。

セルプセンター情報 第37号 平成30年9月30日発行

発行所：特定非営利活動法人 日本セルプセンター 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-13-1 大橋御苑ビル別館2階

発行人：会長 高江智和理 編集人：事務局長 太田 衛 TEL:03-3355-8877 FAX:03-3355-7666 <http://www.selpjapan.net/> E-mail:center@selpjapan.net